

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2020年12月12日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

いのちと健康を守れ！新型コロナウイルス感染拡大に伴い
道議会全会派に緊急要請！



新型コロナウイルス陽性数が、各地で急増し、7～8月の「第2波」に続く「第3波」といえる感染拡大が起きています。感染はあらゆる年代と場所に広がっています。爆発的感染拡大による医療崩壊寸前で、緊急の対応が必要です。

12月9日、道医労連、道労連、道民医連、道社保協は、道議会各会派（自民党・道民会議、民主・道民連合、北海道結志会、公明党、日本共産党）に、「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要請」を行いました。

要請項目は「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名」の項目に、PCR検査と職員の精神的ケアを加えました。

医療機関や介護事業所、職員、患者・利用者の窮状を訴え

「コロナウイルス感染が広がる中、医療機関や介護事業所の業務が増え、人手不足の中、働く職員の労働実態は深刻です」「医療機関や介護事業所の収入も減っています。冬の一時金も昨年比で減額になる事業所も少なくありません」「患者・利用者は生活困窮が広がり、必要な医療が受けられず、手遅れで亡くなる人まで生まれています」

道医労連の鈴木緑執行委員長は、医療機関や介護事業所で働く看護師の深刻な実態について、道民医連の小内浩事務局長は、医療機関や介護事業所の経営状況や患者・利用者の生活困窮と受診抑制の実態を報告し、改善を求めました。

同団体は、次の道議会に向けて、国への意見書採択や道への要請などを行うことにしています。



安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための署名にご協力を

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要請書

1. 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。とりわけ、喫緊の課題であるコロナ禍による医療機関・介護事業所の減収を補填し、地域の医療・介護体制を守ること。

2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地



域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。

3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。

4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。

5. 全ての医療機関・介護事業所、学校・保育所や公務員などのエッセンシャルワーカーに対して、全額公費で定期的にPCR検査を実施すること。

6. すべての医療機関、介護施設等で、職員への精神的ケアが実施できるよう、メンタルヘルスケアの提供体制整備と財政措置を行うこと。

7. 社会保障にかかわる国民負担軽減を図ること。